

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

(目)1 保健衛生総務費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
166,455	0	0	0	15,674	150,781

1 保健衛生総務費

(1) 保健衛生総務費 30,433,759 円【健康推進課】

保健衛生一般経費

- 1) 健康づくり推進協議会を2回開催した。
- 2) 三重県救急医療情報システムに継続加入し、市民に救急医療の的確な情報提供をした。
 - ・ 三重県救急医療情報システム運営負担金 491,040 円
- 3) 三重県市町保健師協議会に継続加入し、市町間での保健師同士の情報交換や研修参加による資質向上につなげた。
 - ・ 三重県市町保健師協議会負担金 99,049 円
- 4) 市民への安心・安全で高度な医療提供が期待されることから、伊勢赤十字病院建設を寄附により支援した。
 - ・ 医療施設整備寄附金 15,000,000 円

一次救急医療体制事業

- 1) 救急医療の体制について、鳥羽市と志摩市が志摩医師会に委託し、医師会により調整会議の開催や普及啓発等の事業を実施した。
 - ・ 一次救急医療体制事業委託料 1,900,000 円
(鳥羽市からの負担金 667,000円)

健康危機管理事業

- 1) 熱中症・食中毒・手足口病・O-157・インフルエンザ・感染性胃腸炎等の注意喚起のため、市民及び関係機関への情報提供を行った。

地域医療対策事業

- 1) 「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム」(栃木県)へ、1人が参加した
- 2) 志摩地域医療を考える会の活動支援として、代表者会議3回、啓発事業の支援、志摩地域医療を考える会活動助成金の交付等を行った。
- 3) 地域医療関係者交流会を1回開催した。
- 4) 離島医療活動のため、間崎自治会に離島医療活動助成金を交付した。
- 5) 志摩地域救急医療合同会議(志摩医師会、志摩病院、市民病院、志摩広域消防組合、南伊勢病院、志摩市)、三地域救急医療連絡協議会等の連携会議に参画した。
- 6) 随時、関係機関(志摩病院、三重県健康福祉部、志摩医師会など)と連携した。

(2) 保健衛生総務給与費 136,021,412 円【総務課】

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

(目)2 予防費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
182,223	0	42,935	0	0	139,288

1 予防費

(1) 予防費 182,223,111 円【健康推進課】

予防接種事業費

1) 伝染性疾病の予防を目的とし、予防接種法に基づく定期予防接種を、県内医療機関に委託し実施した。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。

種類	接種者数(延人)
三種混合(DPT)	1,111
二種混合(DT)	383
ポリオ	694
麻しん(単独)	0
風しん(単独)	0
インフルエンザ	10,152
BCG	307

種類	接種者数(延人)	
麻しん、風しん混合(MR)	期	310
	期	298
	期	484
	期	526
日本脳炎	乳幼児	994
	学童	146
	学童(特例)	515

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費

1) 任意予防接種である子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種について、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業に基づき、県内医療機関に委託し実施した。

種類	接種者数(延人)
子宮頸がん	2,732
ヒブ(Hib)	1,260
小児用肺炎球菌	1,447

感染症予防事業

1) 65歳以上の市民に対して、各地区保健センター及び公共施設等で結核検診を実施した。

・胸部X線検査(間接撮影) 1,200人

妊婦健康診査事業費

1) 母子保健法第13条の規定に基づく健康診査として、妊婦に対し妊婦一般健康診査受診票(母子保健のしおり)を交付し、妊婦の健康診査費用(1~14回分)を助成した。また、里帰り等による県外在住妊婦についても、償還払いによる県外助成を行った。

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

回数	受診者数 (延人)	回数	受診者数 (延人)	回数	受診者数 (延人)
1回目	290	2回目	281	3回目	285
4回目	295	5回目	295	追加9回 (6～14回)分	2,353

県外助成	12人
------	-----

乳幼児健康診査事業費

1) 母子保健法第13条の規定に基づく健康診査として、乳児一般健康診査受診票(母子保健のしおり)を交付し、4か月・10か月児に対して健康診査費用を助成した。

・4か月児健診 306人 ・10か月児健診 279人

1歳6か月児健康診査事業費

1) 母子保健法第12条の規定に基づく健康診査として、満1歳6か月を超え2歳に達しない幼児を対象に、身体計測、内科・歯科健診、保健指導等を実施した。

・12回/年実施 受診者 307人

3歳児健康診査事業費

1) 母子保健法第12条の規定に基づく健康診査として、満3歳を超え4歳に達しない幼児を対象に、身体計測、尿検査、内科・歯科・眼科・耳鼻科健診、保健指導等を実施した。

・12回/年実施 受診者 327人

妊娠届出受理・母子健康手帳交付経費

1) 母子保健法第15条、16条に基づき、妊娠届を提出した者に母子健康手帳を交付した。

・母子健康手帳 290冊交付(内総合保健センター交付分78冊)

乳幼児健康相談事業

1) 母子保健法第10条の規定に基づき、7か月児、12か月児などを対象とし、保健師、歯科衛生士、栄養士等による身体計測、育児相談、歯科相談、栄養指導などの保健指導を実施した。

・乳幼児一般健康相談(定期) 延べ83回/年実施 参加者 延べ844人

・乳幼児一般健康相談(臨時) 延べ82回/年実施 参加者 延べ82人

・7か月健康相談(臨時) 延べ36回/年実施 参加者 延べ274人

・12か月健康相談(臨時) 延べ36回/年実施 参加者 延べ268人

・電話相談(臨時) 延べ153件

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

乳幼児家庭訪問事業

1) 母子保健法第11条に基づき、保健師、訪問員による全戸訪問を実施し、乳幼児の発育発達状況の把握や保健指導を行った。

- ・赤ちゃん訪問 281人(内訪問員実施分71人)
- ・随時(フォロー児等) 延べ82人
- ・保育所訪問(保健センター単独) 延べ18施設(86件)

フォロー教室事業

1) 1歳6か月児健診後、事後指導が必要な幼児及び家族への支援を行うため、親子遊びなどを通じ、参加者間の交流促進を図った。

- ・フォロー教室 9回/年実施 来所者延べ53人

乳幼児健やかネットワーク事業

1) 志摩市内の保育所・幼稚園・子育て支援センター等関係機関と連携し、子どもの健康づくりについての取り組みを話し合うネットワーク会議を開催した。

- ・健やかネットワーク地区会議 20回/年実施

不妊治療費助成事業

1) 総合的な少子化対策の一環として、特定不妊(体外受精、顕微授精)及び人工授精治療対象者に治療費を助成し、経済的負担の軽減を図った。

- ・特定不妊治療助成 23人(内5人が志摩市負担分)
- ・志摩市不妊治療助成 8人

自殺対策事業

1) 普及啓発事業

- ・「自殺対策強化月間」における普及啓発活動事業として、パンフレットを作成し、市内回覧した。
- ・「自殺予防週間」における自殺予防キャンペーンとして、パンフレット等の配布やCATV静止画放送を行った。
- ・こころの健康づくりリスナーによるパンフレット配布等を4回実施した。

2) 強化モデル事業

- ・志摩市こころの健康意識調査事業

自殺に対する意識やこころの健康状態等を明らかにすることで今後の自殺対策の方向性を検討する基礎資料とするため、志摩市に居住する20歳以上の人3,000人を対象に、郵送によるアンケート調査を実施した。

- ・志摩市自殺対策関係者会議を開催した。
- ・志摩市自殺対策ワークショップ「いのちを守るワークショップ」を開催した。
- ・収入の状況

地域自殺対策緊急強化事業補助金

2,708,000 円

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

(目)3 保健施設費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,164	0	0	0	7,744	23,420

1 保健施設費

(1) 健康増進センター施設費 …………… 31,164,445 円【健康推進課】

阿児健康増進センター管理運営費

1)平成18年度から指定管理者制度を導入し、株式会社スポーツマックス・三幸株式会社共同事業体と管理運営に関する協定(平成19年度～23年度)を締結している。

・阿児健康増進センター指定管理料 29,883,000 円

・会員数(平成24年3月31現在)

スポーツクラブ…447人 スイミングスクール…409人 計 856人

・利用者数

一般・登録会員…58,747人 スイミングスクール会員…13,347人 計 72,094人

・子供短期水泳教室

3歳児から小学生までを対象に、水慣れから4泳法までを指導した。

・市内小学校水泳指導

・多目的ホールプログラム

エアロビクス、エナジーヨガ、バランスボール、ステップ台を使用した運動指導を行った。

・アスレチックジム

カウンセリングを随時行い、トレーニングメニューを作成し、指導した。

・収入の状況

志摩市社会福祉協議会(阿児支所) 電気・水道等使用料

(阿児健康福祉センター使用経費負担金)

電気使用料	3,360,000円
水道使用料	2,130,000円
灯油使用料	1,220,000円
浄化槽使用料	1,025,000円

合計 7,735,000 円

(目)4 健康増進事業費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
55,612	4,459	3,924	0	996	46,233

1 健康増進事業費

(1) 健康増進事業費 …………… 55,611,577 円【健康推進課】

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

志摩市健康増進計画「健康志摩21」実践事業

- 1) 健康志摩21推進会議(ゆめぴーサミット)を4回開催した。
- 2) 健康志摩21重点分野「身体活動・運動」の取組みとして、啓発を目的としたCATV放送・チラシ配布を行った。
(配布機会:大王わらじ祭、あわび王国まつり、磯部神社祭、海鳴り歌踊祭、ええじゃんか祭、健康体操ふれあい志摩、大王敬老会、各集団検診、乳幼児相談、幼児健診等)
- 3) 健康志摩21重点分野「栄養・食生活」の取組みとして、啓発を目的としたチラシ配布を行った。
(配布機会:大王わらじ祭、ええじゃんか祭、磯部神社祭、海鳴り歌踊祭、健康体操ふれあい志摩等)
- 4) 普及啓発活動として、お口の健康まつりの場で普及啓発劇「8020戦隊ピカレンジャーショー」を実施した。

健康相談事業

- 1) 40歳～64歳の市民に対し血圧測定、検尿、体重測定、体脂肪測定、保健指導を各地区保健センター、公民館等で実施した。

地 区	定期健康相談		随時相談	電話相談
	開催回数	相談者数		
総合保健センター	30	39	54	2
磯部保健センター	58	26	2	0
大王保健センター	44	39	1	2
合 計	132	104	57	4

総合保健センターは、随時相談を、確定申告会場(3回)乳幼児保護者(2回)実施した。

市民健康診査等事業

- 1) 医療保険に制度上加入できない人に対し、健康増進法に基づく健康診査を実施し、各種がん検診は個別・集団の二方法で実施した。

・受診者数

健診種類	対象年齢	受診者数(人)		
		個 別	集 団	合 計
健康増進法健康診査	40歳以上	34		34
肝炎ウイルス検診	40歳以上	93		93
胃がん検診	40歳以上	1,477	300	1,777
子宮頸がん検診	20歳以上		626	626
乳がん検診(マンモグラフィ)	40歳以上	99	676	775
乳がん検診(エコー)	30歳以上	110	272	382
肺がん検診	40歳以上		1,588	1,588
大腸がん検診	40歳以上	1,924	855	2,779
前立腺がん検診	50歳以上	1,606		1,606

肝炎ウイルス・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診は、無料クーポン券対象外の人

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

肝炎ウイルス検診(個別勧奨)事業

1) 40歳以上で5歳刻みの年齢に達する人に対し、肝炎ウイルス検診の無料受診券を送付し、受診勧奨を行った。

	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計(人)
対象者	705	643	645	706	932	3,631
受診者	93	87	104	100	152	536

・要精密検査結果追跡事務を実施した。

健診種類	延べ件数
大腸がん(個別・集団)	193
前立腺がん(個別)	90
胃がん検診(個別)	79
合計	362

がん検診推進事業

1) 特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がん、男女に対して、大腸がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図った。

また、無料クーポン券対象者で未受診の人に対し、受診勧奨通知を送付し受診率向上の取組を行った。

・検診対象者数と受診者数

検診種類		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	合計(人)
子宮頸がん検診	対象者	284	249	218	321	345	1,417
	受診者	24	40	40	85	104	293

検診種類		40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計(人)
乳がん検診	対象者	345	342	371	385	522	1,965
	受診者	114	109	108	109	134	574
大腸がん検診	対象者	713	672	676	756	1,003	3,820
	受診者	87	105	106	101	232	631

・受診勧奨通知発送数

乳がん・子宮頸がん検診未受診者 (12月初旬発送) 2,491通

大腸がん検診未受診者

(職場で受ける可能性の低い60歳に絞って12月中旬発送) 800通

訪問指導事業

・訪問延べ件数 35件(健診に関すること 33件、頻回重複受診者 2件)

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

健康教育事業

・実施回数 15回 , 558人(うち40歳～64歳 100人)

・内 容

特定健診・がん検診・女性特有のがん検診について・こころの健康づくり・いきいきまめな体操・運動の仕方について・就業に係る健康管理について・衛生管理について・骨粗しょう症について

・対 象

市民・その他団体

鵜方いきいきサロンボランティア・間崎地区高齢者・波切いきいきサロン

つるかめ大学受講者・志摩市シルバー人材センター会員

ゆめぴーサミットメンバー・食生活改善推進員・JA鳥羽志摩農協女性部

乳幼児健康相談来所保護者・志摩フリーテニス

食育推進事業

1) 食育推進状況を把握するため、関係部署の食育推進状況について調査をした。
また市民の健康づくりを支援するため、健康教育を実施したり食生活改善推進協議会の協力を得て料理教室を開催した。

・食育推進状況についての調査を実施した。

市立保育所・小学校・中学校

・健康教育実施状況

安乗保育所・ひのでが丘保育所
片田幼稚園

・料理教室実施状況

教室名	回数	参加者数(人)
保護者と子のふれあい料理教室 (食生活改善推進協議会に委託)	10	197
地消・地消料理教室 (食生活改善推進協議会に委託)	8	137

たばこ健康教育事業

1) 未成年者の喫煙防止を効果的にすすめるため、希望に応じて小中学校の児童生徒を対象に受動喫煙やたばこの害などに関する防煙教育を行った。

学校名	学年	人
畔名小学校	6年生	6
安乗小学校	6年生	17
和具小学校	6年生	51
越賀中学校	2・3年生	39
波切中学校	2年生	33
合 計		146

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

健康手帳交付事業

1) 40歳以上の市民で、特定健康診査、各種がん検診、健康教育、健康相談、訪問指導等の保健事業を受けた人、疾病予防や医療の記録を必要とする人に対して健康手帳を交付した。

発行場所	発行数 (冊)	発行数	
		新規発行	再発行
総合保健センター	84	57	27
磯部保健センター	32	2	30
大王保健センター	117	96	21
浜島支所	37	28	9
大王支所	1	0	1
志摩支所	15	6	9
磯部支所	4	1	3
市役所	10	4	6
合計	300	194	106

(目)5 休日夜間応急診療所費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,302	0	0	0	15,248	8,054

1 休日夜間応急診療所費

(1) 休日夜間応急診療所運営事業費 …………… 23,302,106 円【健康推進課】

休日夜間応急診療所管理運営費

1) 県志摩庁舎2階で、志摩医師会・鳥羽志摩薬剤師会に委託し、休日・夜間等における急病者の応急診療を行った。

(診療科) 内科・小児科

(診療日) 月・水・土の夜間(19:30～22:00)

日・祝日の昼間(9:30～12:30 13:30～16:30)

祝日、年末年始(12/31～1/3)は昼間診療のみ

・収入の状況

休日夜間応急診療所使用料 15,135,829円

診断書証明書等交付手数料 107,850円

福祉医療費領収証明書郵送料 3,440円

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

2) 休診利用者数

(人)

年齢別 受診者数	年齢区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	0～6歳(就学前)	48	97	31	55	54	29
	7～15歳(学童・生徒)	31	34	7	21	20	17
	16～64歳	40	68	39	58	43	40
	65歳以上(高齢者)	15	19	11	34	21	27
	合計	134	218	88	168	138	113
	年齢区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0～6歳(就学前)	28	24	47	87	41	26
	7～15歳(学童・生徒)	14	12	24	65	24	25
	16～64歳	37	42	65	185	80	43
	65歳以上(高齢者)	17	19	13	36	24	9
	合計	96	97	149	373	169	103
	年度計	1,846					

(人)

曜日・ 時間帯別 受診者数	曜日(時間帯)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	月(19:30～22:00)	9	15	5	9	21	10
	水(19:30～22:00)	9	6	14	15	20	7
	土(19:30～22:00)	29	18	20	32	27	20
	日(9:30～16:30)	60	71	49	85	70	55
	祝日(9:30～16:30)	27	108	0	27	0	21
	合計	134	218	88	168	138	113
	年齢区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	月(19:30～22:00)	9	13	5	8	12	10
	水(19:30～22:00)	6	9	8	10	18	9
	土(19:30～22:00)	18	8	24	20	19	23
	日(9:30～16:30)	42	40	52	154	82	48
	祝日(9:30～16:30)	21	27	60	181	38	13
	合計	96	97	149	373	169	103
年度計	1,846						

3) 志摩市休日夜間応急診療所運営委員会

・年1回開催した。

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

(目)6 環境衛生費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
189,616	0	3,348	94,900	19,944	71,424

1 環境衛生費

(1) 環境衛生費 1,728,619 円 【美化衛生課】

狂犬病予防及び畜犬登録に関すること

- ・ 狂犬病予防法に基づき、飼犬の登録及び狂犬病予防注射の実施

狂犬病予防法に基づき、畜犬登録及び狂犬病予防注射に関する事務(犬の鑑札及び狂犬病予防注射済票の交付等)を行った。

また、狂犬病予防注射に関する事務の一つとして、公益社団法人三重県獣医師会と協力し、4月初旬に市内各地において集合注射を行った。

	頭数	手数料(円)
畜犬登録	283	847,600
狂犬病予防注射	2,577(うち集合注射889)	1,417,140

畜犬登録および狂犬病予防注射の実績には、鑑札再交付、注射済票再交付をそれぞれ1頭ずつ含む。

- ・ 犬及び猫の不妊手術費助成

市内における捨て犬及び捨て猫を防止し、市民の良好な生活環境を保持するため、獣医師による飼い犬、飼い猫及び野良猫の不妊手術費等の一部を助成した。

	頭数		助成額(円)
	オス	メス	
犬	21	42	223,500円
猫	72	144	762,000円
合計	93	186	985,500円

(2) 火葬場費 19,333,365 円 【美化衛生課】

斎場あご及び斎場浜島やすらぎ苑の2施設において、人生終焉の場として厳かに、火葬業務を実施するとともに施設の管理運営を行った。

火葬業務の実績

火葬業務の実績については、前年度比で人体が約9%増、ペットが約35%増であったこと等により、使用料は前年度より1,943,000円の増額となった。

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

	火葬等の件数				収入の状況	
	斎場あご		斎場浜島やすらぎ苑		計	使用料 (円)
	市内	市外	市内	市外		
人体	698	30	72	3	803	16,675,000
胞衣汚物等	13	0	0	0	13	65,000
改葬	9	0	0	0	9	45,000
ペット			165	6	171	885,000
霊安室	5	0			5	10,000
計	725	30	237	9	1,001	17,680,000

施設修繕の状況

施設修繕については、老朽化が進む中、火葬業務が支障なく円滑に行えるよう、留意して実施しているところであり、当年度においては、斎場あごの火葬炉断熱扉が故障のため、駆動装置の交換等を行った。

年度	前年度(平成22年度)	当年度(平成23年度)
金額 (円)	503,480	1,405,950

(3) 墓地管理費 933,000 円 【美化衛生課】

墓地整備事業費補助金

公衆衛生の向上及び生活環境の整備を図るため、既存の共同墓地を整備する地域の団体(自治会等又は自治会等が主体となっている墓地管理組合等)に対し、補助金を交付した。

・交付実績

越賀墓地整備事業(越賀墓地石積工事) 補助金額 933,000円
(工事費 2,800,000円)

(4) 環境衛生給与費 51,462,752 円 【総務課】

(5) 火葬場建設費 116,158,246 円 【美化衛生課】

新火葬場の建設

6人の地権者から25,653.32㎡の起業地を47,148,799円で買収し、平成23年10月に市への所有権移転登記が完了した。次に地質調査業務を行い、火葬炉建設工事及び建築造成設計業務を公募型プロポーザル方式により選定された業者に発注し建屋と造成等の詳細設計が完了した。また、火葬場建設にかかる調査・検討のため火葬場建設検討委員会を4回開催した。

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

臨時職員賃金

火葬場建設事業の事務処理を行うため緊急雇用創出事業を活用し臨時職員を2人雇用した。

公有財産購入費 47,148,799 円

地権者6人 買収面積 25,653.32㎡ 9筆

補償費 2,261,419 円

権利者5人 工作物補償 1件 立木等補償 5件

(目)7 環境保全費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
131,898	16,476	27,470	0	30	87,922

1 環境保全費

(1) 環境保全費 6,336,187 円 【環境課】

環境保全一般経費

1) こどもエコクラブ

家庭や地域での環境活動・学習に対して支援した。

・登録団体 . . . 8クラブ、サポーター40名

2) 公害防止対策・指導、苦情・紛争の処理に関すること

大気汚染	水質汚濁	悪臭	騒音・振動	その他	合計
29件	12件	19件	4件	24件	88件

3) 地球温暖化防止施策の企画及び推進に関すること

志摩市地球温暖化対策実行計画の推進に努めた。

・平成22年度排出量(CO2換算) 8,854,767kg 基準年度比(平成18年度) 22.3%

4) 省エネルギー及び節電対策に関すること

・平成22年度エネルギー使用量調査の実施

・CATV行政放送及び広報しまにより節電の啓発

5) 公害に関する法律及び三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出に関すること

・受理
騒音・振動関係(建設作業) 1件

・進達
水質汚濁防止法関係 14件

大気汚染防止法関係 7件

三重県生活環境の保全に関する条例関係 . . . 4件

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

6) 志摩市の自然と環境の保全に関する条例関係・・・5件

7) 放射能濃度測定に関すること

- ・市内6箇所(小学校、保育所等)の放射性物質測定業務委託 418,950円
- ・放射能測定器購入 498,750円
- ・放射能測定器により市役所及び支所等の空間放射線量率(ガンマ線)を測定し、結果をホームページ及び広報しまで周知した。

8) 生活排水対策の推進に関すること

生活排水処理基本計画及び一般廃棄物(生活排水)処理実施計画並びに循環型社会形成推進地域計画の推進に努めた。

9) 汚水処理施設設置基準に関すること

汚水処理計画書等の受付及び条例に基づく指導等を行った。

環境監視事業

- ・環境監視員・・・18人(報酬月額10,000円) 2,160,000円
- ・報告件数・・・695件
- ・連絡会議(自転車等巡視員含む)開催・・・2回

放置自転車対策事業

- ・自転車等巡視員・・・2人(報酬月額10,000円) 240,000円
- ・撤去台数・・・31台
- ・処分台数・・・45台 処分手数料 22,500円

水質許容限度検討委員会経費 184,360円

浄化槽からの排出水の基準等について検討した。

水質許容限度検討委員会開催・・・3回

河川・海域等水質調査事業

志摩市河川・海域等水質検査業務委託

相手方 財団法人 三重県環境保全事業団

契約金額(環境課分) 1,775,550円

各種環境施策の基礎資料とする目的で、市内の河川、海域等の水質等を継続的に把握するため、次のとおり公共用水域の水質調査を実施した。

区 域	地点数	回数(年間)	項 目
河川等	53	1~6回	生活環境項目等10~17項目
海 域	14	2回	生活環境項目等15項目
その他	1	1回	人の健康に係る項目24項目
	3	1回	底質分析8項目

(2) 合併処理浄化槽設置費・・・・・・・・・・・・ 84,993,084 円【環境課】

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

浄化槽設置整備事業

1) 浄化槽設置整備事業補助金

公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図ることを目的として、合併処理浄化槽を整備しようとする者に対し、その費用の一部を補助した。

・補助件数・金額

区分	通常型		高度処理型		合計	
	基数	交付額(円)	基数	交付額(円)	基数	交付額(円)
5人槽	3基	996,000	105基	46,620,000	108基	47,616,000
7人槽	1基	414,000	66基	32,076,000	67基	32,490,000
10人槽	0基	0	4基	2,304,000	4基	2,304,000
合計	4基	1,410,000	175基	81,000,000	179基	82,410,000

補助金の割合

国(1/3) 16,476,000円(単独処理浄化槽撤去費用補助事業分778,000円を含む)

県(1/3) 27,470,000円

2) 単独処理浄化槽撤去費用補助金

汚濁負荷の大きい生活雑排水を未処理のまま放流する単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、単独処理浄化槽を撤去し高度処理型の合併処理浄化槽を整備しようとする者に対し、その撤去費用の一部を補助した。

・補助件数 26基

・補助金額 2,334,000円 補助金・・・国(1/3)

3) 浄化槽維持管理状況調査の実施

・平成21年度浄化槽設置整備補助金交付者を対象に維持管理状況(法定検査・保守点検・清掃)に関する調査を実施した。

対象者(過年度未回答者含む) 237名 回収率 84.8%

浄化槽の普及及び管理指導に関すること

・建物用途別水質許容限度に係る指導、法定検査の受検率の向上を目指し、県水質保全協会と連携をとり、受検対象地区へのチラシの配布、広報等による啓発を行った。

浄化槽の設置及び廃止届出書の進達事務に関すること

- ・浄化槽設置届出数 113件
- ・浄化槽調書届出数 54件
- ・浄化槽廃止届出数 22件

(3) 環境保全給与費 40,568,588 円【総務課】

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費

施策の成果及び執行実績

(目)8 病院費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
552,000	0	0	52,000	0	500,000

1 病院費

(1) 病院費 552,000,000 円【財政課】

病院事業会計負担金 500,000,000 円

自治体病院としての役割を果たすうえで、救急医療など不採算となる事業についても行わなければならない点に着目して一般会計から負担した。

病院事業会計出資金 52,000,000 円

病院事業会計において実施した浜島診療所移転事業について、合併特例債を活用して一般会計から一部出資した。

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

(目)1 清掃総務費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
298,133	0	0	225,500	166	72,467

1 清掃総務費

(1) 清掃総務費 298,132,831 円 【美化衛生課】

清掃一般経費

・廃棄物減量等推進審議会 支出額 212,300円 (報酬203,500円、費用弁償8,800円)
 志摩市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第6条の規定に基づき、一般廃棄物の減量等
 に関し広く意見を聴くため設置している。現在の委員の任期は、平成23年8月1日から平成
 25年7月31日までで15人を委嘱している。
 平成23年度は、鳥羽志勢広域連合新ごみ処理施設の稼働に向けた準備として、平成25年
 4月から開始する分別区分の統一に関する審議を中心に3回開催した。

・平成24年度版ごみ収集カレンダー作製
 ごみ分別収集の徹底と収集日周知のため、各地域別にごみ収集カレンダーを作製した。
 契約者 志摩市阿児町鵜方2975番地14 株式会社中央印刷
 契約額 2,572,815円
 作製部数 浜島町地区 2,200部
 大王町地区 3,200部
 志摩町地区 5,100部
 阿児町地区 8,800部
 磯部町地区 3,600部
 合 計 22,900部

・収入の状況
 一般廃棄物処理業許可手数料(し尿に係るものを除く) 44,000円
 (新規許可1件、更新許可13件)
 賃借料 27,100円(中部電力、NTT電柱等占用分)
 広告掲載料 120,000円(平成24年度版ごみ収集カレンダーへ2件掲載)

指定ごみ袋購入経費

ごみの減量を目的とし、ごみ分別の意識高揚を図るため指定ごみ袋を作製した。

第1回 契約者 愛知県海部郡蟹江町一丁目523番地 佐藤化学工業株式会社
 契約額 14,033,250円
 作製数量 もやせるごみ用 1,716,500枚
 もやせないごみ用 285,000枚
 資源ごみ用(A) 325,000枚
 資源ごみ用(B) 30,000枚
 固形ごみ用 195,000枚
 合 計 2,551,500枚

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

追加分 契約者	愛知県小牧市新町2-296	ジェイフィルム株式会社	名古屋営業所
契約額	1,766,625円		
作製数量	もやせるごみ用	187,500枚	
	もやせないごみ用	74,000枚	
	資源ごみ用(A)	33,000枚	
	合計	294,500枚	

鳥羽志勢広域連合ごみ処理関係負担金

新ごみ処理施設を建設する費用及び資源ごみ処理施設関係費用を負担金として支出した。ごみ処理施設建設事業の実施期間は平成20年度から平成25年度までで、負担金の財源として合併特例債を活用した。

支出額

・ごみ処理施設建設関係負担金	264,474,000円
・資源ごみ処理施設関係負担金	9,866,000円
合計	274,340,000円

不法投棄防止対策事業

- ・不法投棄防止啓発看板の購入 支出額 131,250円
公共用地の不法投棄防止を目的として啓発用看板を購入した。(看板 50セット)
- ・特定家庭用機器リサイクル手数料 支出額 309,196円
不法投棄物であることが確認された家電リサイクル法対象機器が清掃センターに搬入された際に市がリサイクル手数料を負担し指定引き取り場所へ搬入した。
(内訳：テレビ 82台、冷蔵庫 19台、洗濯機 7台、エアコン4台 合計112台)
- ・ごみ不法投棄処理委託料 支出額 85,732円
廃タイヤ等の処理困難物を民間業者に委託し処理した。(廃タイヤ 7.1立方メートル)

生ごみ減量化対策事業

ごみの減量を図るため、市内に在住する世帯主に対して、電気式家庭用生ごみ処理機の購入費用の一部を助成した。

- ・助成率 購入金額(消費税を除く)の1/2の額(限度額3万円)
- ・交付件数 35件
- ・交付額 1,012,400円

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

リサイクル事業奨励事業

資源物の集団回収を行った非営利団体に対して奨励金を交付し、ごみの減量と資源化を促進し、活動を通じてリサイクル意識の向上を図った。平成23年度末の登録団体数は34団体である。奨励金の交付単価は紙類などの資源物は1kgあたり5円、ビン類は1本あたり1円である。

- ・交付件数 68件
- ・回収重量 約316 t
- ・交付額 1,573,430円

ごみ分別区分統一事業

平成26年4月の鳥羽志勢広域連合新ごみ処理施設の稼働に伴い、ごみの減量化を推進するため、平成25年4月から開始予定の市内全域のごみ分別区分統一のための内部検討会議(清掃センター所長会議)を開催した。

また、「平成25年4月からの家庭用資源物とごみの分け方・出し方(案)」を作成し、パブリックコメント(意見募集)及び市内の各自治会に対する説明、意見聴取を実施した。

(目)2 塵芥処理費

(単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
761,652	31,519	8,055	8,500	176,650	536,928

1 塵芥処理費

(1) エコフレンドリーはまじま塵芥処理費 ... 80,258,417 円【エコフレンドリーはまじま】

一般経費 14,373,994 円

職員に係る一般経費、臨時職員賃金及び作業用消耗品、指定ごみ袋販売委託料など

指定ごみ袋販売委託料・・・指定ごみ袋販売代金の10%を販売委託料とする。

平成22年度指定ごみ袋売上・・・8,840,500円

平成23年度指定ごみ袋売上・・・9,720,000円

町内販売業者での購入を促した結果、昨年より売り上げが増加した。

管理運営費 29,489,985 円

薬品等購入、燃料費、光熱水費、浄化槽にかかる経費、環境分析委託料、年次定期点検、RDF処理委託料にかかる管理運営費

RDF施設96日稼働

燃料費 6,707,586 円

光熱水費 14,685,482 円

廃棄物処理施設等環境分析業務委託料 672,840 円

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

R D F 施設年次定期点検委託料 1,627,500 円
R D F 処理委託料 3,359,132 円 など

最終処分場管理運営費 8,228,504 円

一般廃棄物最終処分場維持管理経費及び用地借上料等に係る経費
埋立処分量258 t

施設修繕料 1,979,019 円
備品修繕料 1,207,169 円
使用済み乾電池等運搬・処理処分管理委託料 355,803 円
廃棄物最終処分場等環境分析業務委託料 887,040 円
最終処分場用地借上げ料 個人4件 法人1件 3,653,333 円 など

R D F 運搬委託経費 4,570,874 円

製造された R D F 運搬委託にかかる経費
桑名市にある三重ごみ固形燃料発電所まで10 t 積コンテナトラックで運搬

ごみ収集車等管理経費 1,465,569 円

ごみ収集車等にかかる維持管理経費

修繕料 975,129 円
車検手数料等 237,010 円
重量税 170,000 円 など

浜島町内には、106箇所のごみ集積所があり、固形ごみは週3回、固形できないごみは月2回、資源ごみは月4回、直営の収集である。
なお、各部門のごみ排出量は次のとおりである。

ごみ排出量 (単位：t)

	収集	持ち込み	処理残渣	合計
固形ごみ	776	418		1,194
固形できないごみ	147	182	16	345
資源ごみ	259	81		340
計	1,182	681	16	1,879

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

資源回収の内訳 (単位：t)

紙類	230	ビン類	44
スチール缶	9	その他プラスチック	32
アルミ缶	5	白色トレイ	1
ペットボトル	11	発泡スチロール	5

収集および処理施設稼働日数 (単位：日)

	固形できるごみ	固形できないごみ	資源ごみ
収集日	146	23	48
不燃物処理日		242	

ごみ処理施設維持修繕事業 20,398,770 円

R D F 施設にかかる修繕経費

消耗機器等補修 15,225,000 円
脱臭炉補修 2,100,000 円
成形機先端スクリーナー肉盛補修 840,000 円 など

ごみ分別適正化推進員配置事業 1,730,721 円

ごみの減量化を推進するため、市内不統一の分別区分を統一することにより、ごみの資源化を促進するため、ごみ分別適正化推進員を雇用し事業事務の円滑化を図る。
なお、この事業は緊急雇用創出事業の一環として実施した。

収入の状況 15,631,894 円

一般廃棄物処理手数料

一般廃棄物処理手数料(持ち込み分) 692,310 円
一般廃棄物処理手数料(指定ごみ袋分) 9,720,000 円
特定家庭用機器運搬手数料 29,900 円
合計 10,442,210 円

雑入

アルミ缶等売却代 5,189,684 円

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

(2) 大王清掃センター塵芥処理費 27,747,153 円【大王清掃センター】

一般経費 12,425,340 円

職員に係る一般経費、臨時職員賃金及び作業用消耗品、指定ごみ袋販売委託料など。

指定ごみ袋販売委託料 . . . 指定ごみ袋販売代金の10%を販売委託料とする。

平成22年度指定ごみ袋売上 . . . 10,066,500円

平成23年度指定ごみ袋売上 . . . 9,383,000円

平成23年度における指定ごみ袋の売上が前年度と比較して僅かに減少していることについては、平成23年度に清掃センターで受け付けたごみの処理手数料が前年度と比較して増加していることから、指定ごみ袋を使用せずに直接清掃センターに持ち込まれたごみが多かったためと考えられる。

管理運営費 5,003,772 円

薬品購入、光熱水費、浄化槽にかかる経費、使用済み乾電池等運搬・処分委託料、シルバー人材センター委託料等に係る維持管理経費として

光熱水費 2,817,784円

シルバー人材センター委託経費 545,022円 など

シルバー人材センター委託経費は、ペットボトルと缶類の分別を委託。再利用可能な資源物をよりの確に分別することにより、再処理施設等への搬出において適正な資源物として出せる体制を整えた。

最終処分場管理運営費 2,395,470 円

一般廃棄物最終処分場維持管理等に係る経費

廃棄物最終処分場等環境分析業務委託料 728,070円

浸出液処理設備定期点検整備業務委託料 1,575,000円 など

ごみ収集車等管理経費 4,591,310 円

ごみ収集車等管理経費として、燃料費、修繕料、車検代、重量税など
(塵芥車2台、2tダンプ1台、軽ダンプ2台、重機1台)

燃料費 1,580,132円

備品修繕料 2,632,948円

車検手数料・保険料 248,030円

重量税 130,200円

大王町内のごみ集積所に出された可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・廃乾電池等を直営で収集している。

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

集積所数	71箇所		
収集回数	もやせるごみ	週2回	
	もやせないごみ	週1回	
	資源ごみ	週2回	
	(ビン・缶・ペットボトル、紙類、布類、 金属類、発泡トレイ、プラスチック)		
	廃乾電池等	毎週水曜日	
収集量	もやせるごみ	1,521 t	
	もやせないごみ	79 t	
	資源ごみ	363 t	
	廃乾電池等	3 t	

持込ごみ量	もやせるごみ	247 t
	もやせないごみ	48 t
	資源ごみ	53 t

ごみ処理施設維持修繕事業 843,102 円

水処理施設及び計量器等にかかる修繕経費として

浸出液処理施設において発生した不具合等に係る修繕等を実施した。

給水ユニット他不具合点検修理等一式 500,850円

槽内フロートスイッチ取替修理 285,075円 など

生ごみ堆肥化事業 786,163 円

特定非営利活動法人 志摩ネットサポートに業務委託をし、大王給食センター等から排出される生ごみを堆肥化することにより、資源の循環化を図った。

ごみ分別適正化推進員配置事業 1,701,996 円

ごみの減量化を推進するため、市内不統一の分別区分を統一することにより、ごみの資源化を促進するため、ごみ分別適正化推進員を雇用し事業事務の円滑化を図る。

なお、この事業は緊急雇用創出事業の一環として実施した。

収入の状況 17,142,934 円

一般廃棄物処理手数料(持ち込み分)	1,243,390円
一般廃棄物処理手数料(指定ごみ袋分)	9,383,000円
特定家庭用機器運搬手数料	56,300円
アルミ缶等売却代	6,460,244円

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

(3) 志摩清掃センター塵芥処理費 108,347,183 円【志摩清掃センター】

一般経費 8,679,715円

職員に係る一般経費、臨時職員賃金及び作業用消耗品、指定ごみ袋販売委託料など
指定ごみ袋販売委託料 . . . 指定ごみ袋販売代金の10%を販売委託料とする。

平成22年度指定ごみ袋売上 . . . 16,925,300円

平成23年度指定ごみ袋売上 . . . 19,246,000円

もやせないごみ、資源ごみについて、指定ごみ袋を利用するように自治会とも連携し、啓発に努めた結果、売り上げが大幅に増加した。

管理運営費 56,169,965円

薬品購入、燃料費、光熱水費、浄化槽にかかる経費、使用済み乾電池等運搬・
処分委託料、環境分析委託料、シルバー人材センター委託料等に係る維持管理経費

薬品等購入費 10,741,035円
光熱水費 31,150,457円
シルバー人材センター委託経費 5,882,571円 など

薬品等購入費については、公害除去用薬品（重金属固定剤・消石灰等）の購入費。
シルバー人材センター委託経費は、プラスチック類の分別を委託。もやせないごみ
として出されたごみを可燃物、不燃物、資源物に分別することにより、再利用可能
な資源を選別し有効利用するようにした。

最終処分場管理運営費 6,946,090円

一般廃棄物最終処分場維持管理経費及び用地借上料等に係る経費

修繕料 3,263,500円
水処理施設保守点検管理委託料 1,260,000円
用地借上料 1,475,700円 など

ごみ収集運搬委託経費 14,032,335円

志摩町内6地区のごみ集積所に出された可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・廃乾電池等
粗大ごみ（間崎地区のみ）を許可業者に委託

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

ごみ収集運搬業務委託料 14,032,335円

集積所数 75箇所

収集回数 もやせるごみ 週2回、
もやせないごみ 週1回
資源ごみ アルミ缶・ペットボトル・
紙類 月2回、その他プラスチック類
月2回、発泡トレイ週1回、
廃乾電池等 随時

収集量	もやせるごみ	2,121 t
	もやせないごみ	262 t
	資源ごみ	302 t
	廃乾電池等	2 t
	粗大ごみ	2 t

持込ごみ量	もやせるごみ	1,566 t	他センター 受入分	1,624 t
	もやせないごみ	148 t		102 t
	粗大ごみ	68 t		
	資源ごみ	24 t		

ごみ収集車等管理経費 2,508,027円

ごみ収集車等管理経費として、修繕料、車検代、重量税など。
(2tダンプ4台、塵芥車1台、軽トラック1台、軽バン1台、普通車1台)

修繕料 2,191,917円
車検代 193,510円
重量税 122,600円

ごみ処理施設維持修繕事業 18,459,870円

焼却施設・粗大ごみ破碎処理施設にかかる修繕経費及び設計及び積算業務委託費として。

平成11年に完成し築13年が経過しているため、焼却炉内の耐火物に経年劣化がみられ、2号炉においては天井部の耐火物が崩落したため緊急修繕した。

1・2号炉煙道ダクト側壁部耐火物修繕 8,342,250円
2号炉燃焼室天井部耐火物修繕 1,197,000円 など

ごみ分別適正化推進員配置事業 1,551,181円

ごみの減量化を推進するため、市内不統一の分別区分を統一することにより、ごみの資源化を促進するため、ごみ分別適正化推進員を雇用し事業事務の円滑化を図る。
なお、この事業は緊急雇用創出事業の一環として実施した。

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

収入の状況 36,381,832円

一般廃棄物処理手数料(持ち込み分)	6,910,880円
一般廃棄物処理手数料(指定ごみ袋分)	19,246,000円
特定家庭用機器運搬手数料	108,600円
アルミ缶等売却代	10,027,632円
その他雑入	88,720円

(4) 阿児清掃センター塵芥処理費 114,780,430 円【阿児清掃センター】

一般経費 25,480,919 円

職員に係る一般経費、臨時職員賃金及び作業用消耗品、指定ごみ袋販売委託料など
指定ごみ袋販売委託料 . . . 指定ごみ袋販売代金の10%を販売委託料とする。
平成22年度指定ごみ袋売上 . . . 41,105,550円
平成23年度指定ごみ袋売上 . . . 41,299,950円

管理運営費 51,789,342 円

薬品購入、燃料費、光熱水費、浄化槽にかかる経費、使用済み乾電池等運搬・
処分委託料、環境分析委託料、シルバー人材センター委託料等に係る維持管理経費

薬品等購入費	6,389,607円
光熱水費	30,981,105円
シルバー人材センター作業委託料	2,725,005円 など

薬品等購入費については、有害ガス除去用薬剤(消石灰)・重金属固定剤(キレート剤)
の購入費。シルバー人材センター委託経費は、搬入ごみの分別指導業務の委託。
搬入ごみを可燃物、資源物に分別し、再利用可能な資源として有効利用している。

最終処分場管理運営費 2,937,970 円

一般廃棄物最終処分場維持管理経費及び用地借上料等に係る経費

廃棄物最終処分場等環境分析業務委託料	1,254,540円
使用料及び賃借料	258,600円
補償補填及び賠償費	1,000,000円など

ごみ収集運搬委託経費 5,376,000 円

阿児町内のごみ集積所に出された不燃ごみ、資源ごみ(缶・鉄類)の収集運搬業務
を許可業者に委託
集積所へ出された可燃ごみは、職員による収集

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

不燃物収集運搬業務委託料 5,376,000円	
集積所数 278箇所	
収集日 毎週火曜日・水曜日(各地区月1回)	
もやせないごみ(ビン・ガラス・陶器類)	
資源ごみ 缶・鉄類	
収集量	もやせないごみ 223 t
	資源ごみ 657 t
	もやせるごみ 3,536 t

持込ごみ量	もやせるごみ	4,848 t	他センター 受入分	31 t
	もやせないごみ	384 t		
	資源ごみ	237 t		

ごみ収集車等管理経費 7,463,321 円

ごみ収集車等管理経費として、修繕料、車検代、車両購入費、重量税など
(2tダンプ2台、塵芥車4台、軽ダンプ1台、バン1台、普通車1台)

車検代	499,615円
車両購入費	4,050,001円
重量税	186,700円 など

ごみ処理施設維持修繕事業 20,299,335 円

焼却施設・粗大ごみ破碎処理施設にかかる修繕経費

20 t 炉・25 t 炉有害ガス除去装置点検整備修繕	7,674,450円
25 t 炉上部煙道耐火材補修工事	1,286,250円など

ごみ分別適正化推進員配置事業 1,433,543 円

ごみの減量化を推進するため、市内不統一の分別区分を統一することにより、ごみの資源化を推進するため、ごみ分別適正化推進員を雇用し事業事務の円滑化を図った。
なお、この事業は緊急雇用創出事業の一環として実施した。

収入の状況 84,226,210 円

一般廃棄物処理手数料(持ち込み分)	24,394,510 円
一般廃棄物処理手数料(指定ごみ袋分)	41,282,500 円
一般廃棄物処理手数料(滞納繰越分)	194,800 円
特定家庭用機器運搬手数料	81,100 円
アルミ缶等売却代	18,217,300 円
その他雑入	56,000 円

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

(5) 磯部清掃センター塵芥処理費 76,671,303 円【磯部清掃センター】

一般経費 13,257,727 円

職員に係る一般経費、臨時職員賃金及び作業用消耗品、2地区への補償金、指定ごみ袋販売委託料等

指定ごみ袋販売委託料 . . . 指定ごみ袋販売代金の10%を販売委託料とする

平成22年度指定ごみ袋売上 11,650,800円

平成23年度指定ごみ袋売上 10,230,000円

昨年度に比べ、ごみ収集量の減少及び販売委託等の変更により減少したため。

栗木広・夏草地区への補償金 3,000,000円

管理運営費 29,239,255 円

薬品購入、燃料費、光熱水費、汲取りにかかる経費、使用済み乾電池等運搬・処分委託料、環境分析委託料、施設修繕等に係る維持管理経費等

薬品等購入費 3,483,392円

光熱水費 13,337,681円

燃料費 10,430,953円

廃棄物処理施設等環境分析業務委託料 709,170円

薬品等購入費については、公害除去用薬品(重金属固定剤・消石灰等)の購入費

最終処分場管理運営費 2,908,197 円

一般廃棄物最終処分場維持管理経費及び用地借上料等に係る経費等

廃棄物最終処分場等環境分析業務委託料 579,495円

用地借上料 1,853,000円

ごみ収集運搬委託経費 8,192,742 円

磯部町内26地区のごみ集積所に出された可燃ごみを許可業者に委託
ごみ集積所に出された不燃ごみ・資源ごみ・廃乾電池等は職員による収集

ごみ収集運搬業務委託料 8,192,742円

集積所数 251箇所

収集回数 もやせるごみ 週2回、
もやせないごみ 月1回
資源ごみ(アルミ缶・ペットボトル等) 月3回
紙類 月1回、
その他プラスチック類 月2回、
発泡トレイ 月1回、廃乾電池等 随時

収集量 もやせるごみ 1,239 t

もやせないごみ 115 t

資源ごみ 429 t

廃乾電池等 2 t

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

持込ごみ量	もやせるごみ	702 t	他センター 受入分	67 t
	もやせないごみ	285 t		108 t
	資源ごみ	95 t		

ごみ収集車等管理経費 7,119,215 円

ごみ収集車等管理経費として、塵芥車購入、修繕料、車検代、重量税等
(2tダンプ2台、塵芥車3台、軽トラック3台、フォークリフト等)

塵芥車購入	4,956,000円
修繕料	1,572,695円
車検代	142,810円
重量税	195,300円

ごみ処理施設維持修繕事業 14,316,867円

焼却施設にかかる修繕経費及び設計及び積算業務委託費として

昭和58年4月稼働、平成14年11月ガス冷却室を含む燃焼ガス冷却設備を更新したが、炉においては29年、ガス冷却室においては10年が経過しているため、あらゆる箇所に修理が必要であり、特に1号炉については応急補修をした。

1号炉耐火物応急補修工事	1,228,500円
2号炉ガス冷却部耐火物修繕	4,893,000円 など

ごみ分別適正化推進員配置事業 1,637,300 円

ごみの減量化を推進するため、市内不統一の分別区分を統一することにより、ごみの資源化を促進するため、ごみ分別適正化推進員を雇用し事務事業の円滑化を図る。なお、この事業は緊急雇用創出事業の一環として実施した。

収入の状況 21,905,150円

一般廃棄物処理手数料(持ち込み分)	4,194,520円
一般廃棄物処理手数料(指定ごみ袋分)	10,230,000円
特定家庭用機器運搬手数料	49,100円
アルミ缶等売却代	7,431,530円

(6) 塵芥処理給与費 320,967,976 円【総務課】

(款)4 衛生費 (項)2 清掃費

施策の成果及び執行実績

(7) きめ細かな：阿児清掃センター塵芥処理費 ・ 32,879,700 円【阿児清掃センター】

ごみ処理施設維持修繕事業 32,879,700 円
 焼却施設にかかる修繕料、委託料、工事請負費
 (20 t 炉煙突改修工事、20 t 炉1号再燃焼室修繕工事)

(目)3 し尿処理費 (単位 千円)

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
597,115	0	0	0	600	596,515

1 し尿処理費

(1) し尿処理費 597,114,472 円【環境課】

し尿処理一般経費

- 1) 離島し尿等収集運搬車両等修繕料 517,093円
- 2) 一般廃棄物収集運搬業(し尿)及び浄化槽清掃業の許可に関する事
許可更新(5業者)を行い、適正業務推進のため連絡調整及び指導を行った。
- 3) 下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に関する事
一般廃棄物(し尿)収集運搬許可業者・浄化槽清掃許可業者との連絡会議開催 . . 3回

廃棄物処理場周辺地域補償費 1,300,000円

鳥羽志勢広域連合し尿焼却処理場設置に伴う協定書に基づき、地元自治会へ借用地関係費等を支払った。

鳥羽志勢広域連合し尿処理関係負担金

鳥羽志勢衛生処理場関係	磯部衛生処理場関係	し尿処理施設建設関係
371,873,000円	14,647,000円	207,384,000円

離島し尿処理対策事業

- 1) 渡鹿野し尿処理業務委託料
 名称 磯部町渡鹿野地区し尿等運搬等業務委託
 相手方 渡鹿野区
 金額 750,000円
- 2) し尿汲取り等助成金(間崎地区)
 志摩町間崎地区住民に対し、し尿汲取り等の料金較差是正のため、助成を行った。
 件数 87件
 金額 318,295円